関心を持つ SDGs のターゲットについて深く学びスペシャリストになろう！

佐賀龍谷学園の中学生が 4 人の専門家とオンラインで「対談」しました

三井住友信託銀行では 2012 年より、SDGs 教育メディア「SDGs TV」を運営する株式会社 TREE と協働し、次世代を担う子供たちに向けた ESD（持続可能な開発のための教育）プロジェクトに取り組んでいます。

第 16 回目となる ESD プロジェクトは、学校法人佐賀龍谷学園　龍谷中学校 3 年生を対象に、興味・関心を持つ SDGs のターゲットについて深く学ぶ対談式の特別授業を実施しました。前回に続き、今回の ESD プロジェクトも、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、打ち合わせから授業実施当日まで完全なリモート形式で行いました。

SDGs とは

2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成されており、「地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）」をスローガンに、発展途上国から先進国までが一体となって積極的な取り組みを進めています。

SDGs をテーマに 4 人の専門家とオンラインで「対談」

2021 年 3 月 5 日（金）、佐賀龍谷学園 龍谷中学校 3 年生 19 人を対象にした ESD プロジェクトを実施しました。これは、日頃学んでいる SDGs についてより深く具体的に探究し、自分たちの興味・関心のある社会問題の解決に向けて自ら考えられるスペシャリストになれるよう、その専門分野で活躍する専門家の方と直接対談をする機会を提供したものです。

■4つのグループの対話テーマ（SDGs の目標とターゲット）

グループ①　ゴール 2
ターゲット 2-1「飢餓撲滅と十分な食料について」
国連 WFP日本事務所 広報官 飯塚恵さま

グループ②　ゴール 3
ターゲット 3-3「伝染病根絶及び感染症への対処」
認定 NPO 法人Malaria No More Japan 理事 長島美紀さま

グループ③　ゴール 3
ターゲット 3-9「水質及び土壌汚染による死亡・疾病の大幅減少について
一般社団法人 環不知火プランニング 代表 森山亜矢子さま

グループ④　ゴール 5
ターゲット 5-c「ジェンダー平等の促進」
株式会社セールスフォース・ドットコム 岡林薫さま

真に SDGs を「ジブンゴト」にするためには

当日は、佐賀龍谷学園の教室と各地にいらっしゃる講師の方とをオンラインで繋ぎ、リモート形式で質疑応答や意見交換をしてもらいました。

「飢餓撲滅」をテーマにした対話では、飢餓の原因は食品貯蔵の問題だけではなく、紛争や気候変動による自然災害、男女格差、経済的な打撃などの問題が複雑に絡み合っていることを学びました。講師の方からは、「自分たちの普段の行動が開発途上国や世界の飢餓に影響を及ぼしているかもしれないという視点を持ってほしい」というメッセージが寄せられました。

「マラリア」をテーマにした対話では、いまだワクチンがないため蚊帳を配布して罹患を防いでいること、映画や歴史を紐解くことでマラリアの歴史を知ることができると学びました。講師の方からは、「保健衛生にはちょっとした行動変容が非常に重要で、最終目標は世界からマラリアがなくなり団体（NPO 法人）が解散すること」というメッセージが寄せられました。

「公害」をテーマにした対話では、プラスチックごみ問題や水俣病をはじめとした公害問題のお話に加え、情報発信をする際には"誰に対して何を伝えたいのか"をしっかりと決めることが大切であると学びました。講師の方からは、「巷に溢れる情報を鵜呑みにせず、実際に自分の目で確かめて人と対面で話をして、真意を見極められるようになってもらいたい」というメッセージが寄せられました。

「ジェンダー平等」をテーマにした対話では、LGBTQ の方が周りにいない/分からないから問題にしないのではなく、必ず自分の周りにいるという視点や多様性を意識すること、性はその人の個性の一部であり一人の人間としてみることが真の平等につながることを学びました。講師の方からは、「カミングアウトをしなくても働ける会社を作ること、住みやすい社会を作ることが最終的なゴール」というメッセージが寄せられました。

今回の研修会は、各グループが長い時間をかけて理解を深めてきた SDGs の目標・ターゲットについて、リアルタイムで専門家と対話をするという初の試みでしたが、佐賀龍谷学園 龍谷中学校 3 年生の皆さまには、自分たちの調べてきたことや思い、疑問点を直接つたえることができる貴重な時間だったのではないかと思います。参加した生徒の皆さまからは、「SDGs の 17 の目標が、相互が複雑に絡み合い、繋がっていることを実感した」、「専門的なことから今から行動できることまで多種多様な取り組みがあるが、身近なことからスタートしたい」等の感想が寄せられました。

この ESD プロジェクトを通じて、次世代を担う子供たちが SDGs の掲げる目標や社会の課題を「ジブンゴト」として体感し、その課題解決について自ら考え、具体的な取り組みを進めてもらうきっかけになれば幸いです。

三井住友信託銀行では今後も、SDGs の目標達成に向けた取り組みと、ESD の推進に努めてまいります。